

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が253例(男性102例(10歳代1例, 20歳代14例, 30歳代9例, 40歳代17例, 50歳代17例, 60歳代10例, 70歳代13例, 80歳代15例, 90歳代5例, 年齢非公開1例), 女性139例(10歳代2例, 20歳代16例, 30歳代12例, 40歳代18例, 50歳代11例, 60歳代11例, 70歳代23例, 80歳代25例, 90歳代19例, 年齢非公開2例), 年齢及び性別非公開12例)あり, 本年の累積報告数は2,841例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は肺炎です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第4週追加報告分)ありました。症状は尿路感染症及び菌血症です。本年の累積報告数は3例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第4週追加報告分)ありました。症状は発熱及び菌血症で, 感染地域は国内です。本年初めての報告例です。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 申請方法が郵送に限られるなどの変更があります。最新の情報については, 下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(医療衛生企画課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が3例(10歳代男性, 30歳代男性, 40歳代男性各1例)(第3週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内で, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は5例になりました。
梅毒は早期には薬物治療で完治できますが, 検査や治療が遅れたり, 治療せずに放置すると, 脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。感染予防のために, 性行為時にはコンドーム等を適切に使用しましょう。また, 性器や口腔周囲に異変を感じたら, 性行為を控え, 速やかに医療機関に相談し, 早期発見・早期治療することが重要です。
- 百日咳の報告が1例(20歳代女性)あり, 症状は持続する咳です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- インフルエンザ及び小児科定点把握感染症の推移は, 突発性発しんの報告がやや増えたものの, 流行の兆候の見られる感染症はありません。

◆ 今週のトピックス: <百日咳>

京都市の百日咳は第5週に本年初めての報告がありました。2018年に小児科定点把握疾患から全数把握疾患に変更されたことで, 感染源, 予防接種歴, 集団感染の状況把握などの状況が明らかになってきました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域[※], 感染経路[※]の順に掲載)

- 二類: 結核 7例(肺結核 2例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 17例(肺結核 7例, その他結核 7例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例】
- 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 253例【1月以降の累積報告数 2,841例】
- 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類: 侵襲性髄膜炎菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: 梅毒 3例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0. 01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2. 91	125
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 65	28
	③ 突発性発しん	0. 42	18
	④ 咽頭結膜熱	0. 12	5
	⑤ 水痘	0. 09	4
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <百日咳>

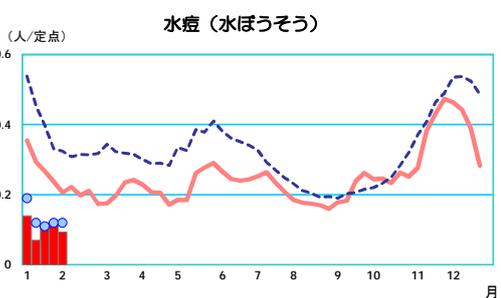
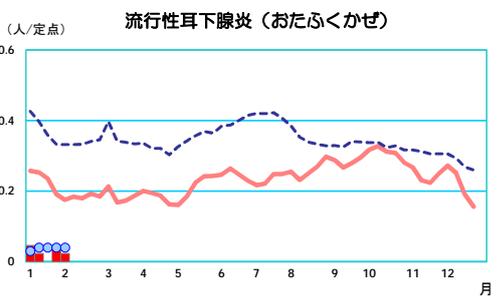
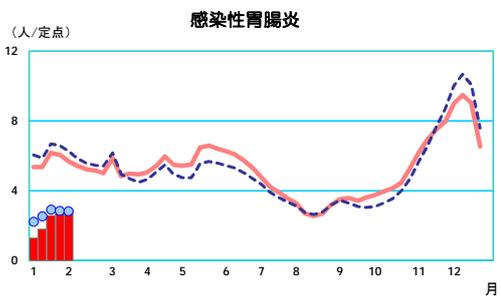
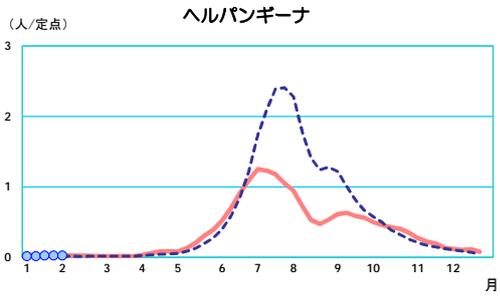
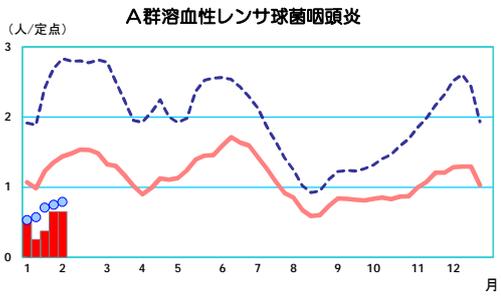
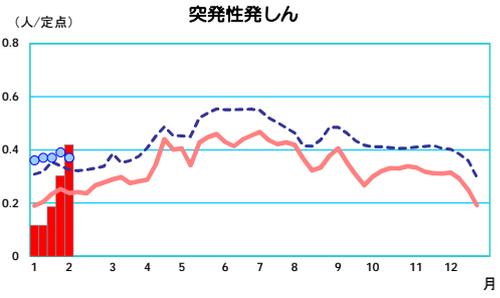
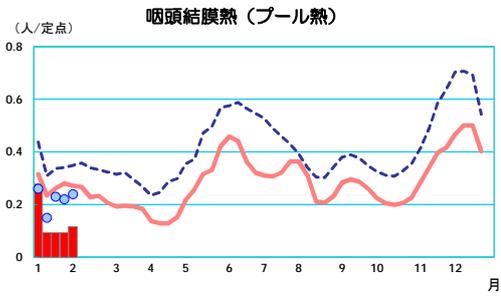
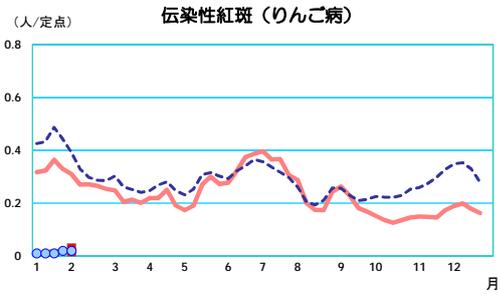
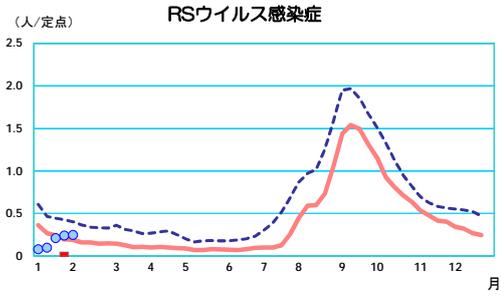
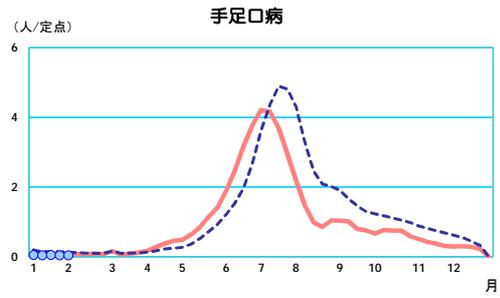
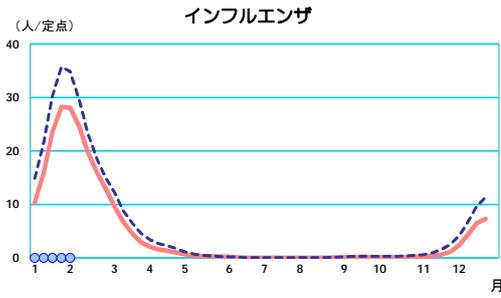
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年2月10日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

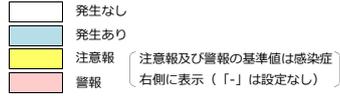
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

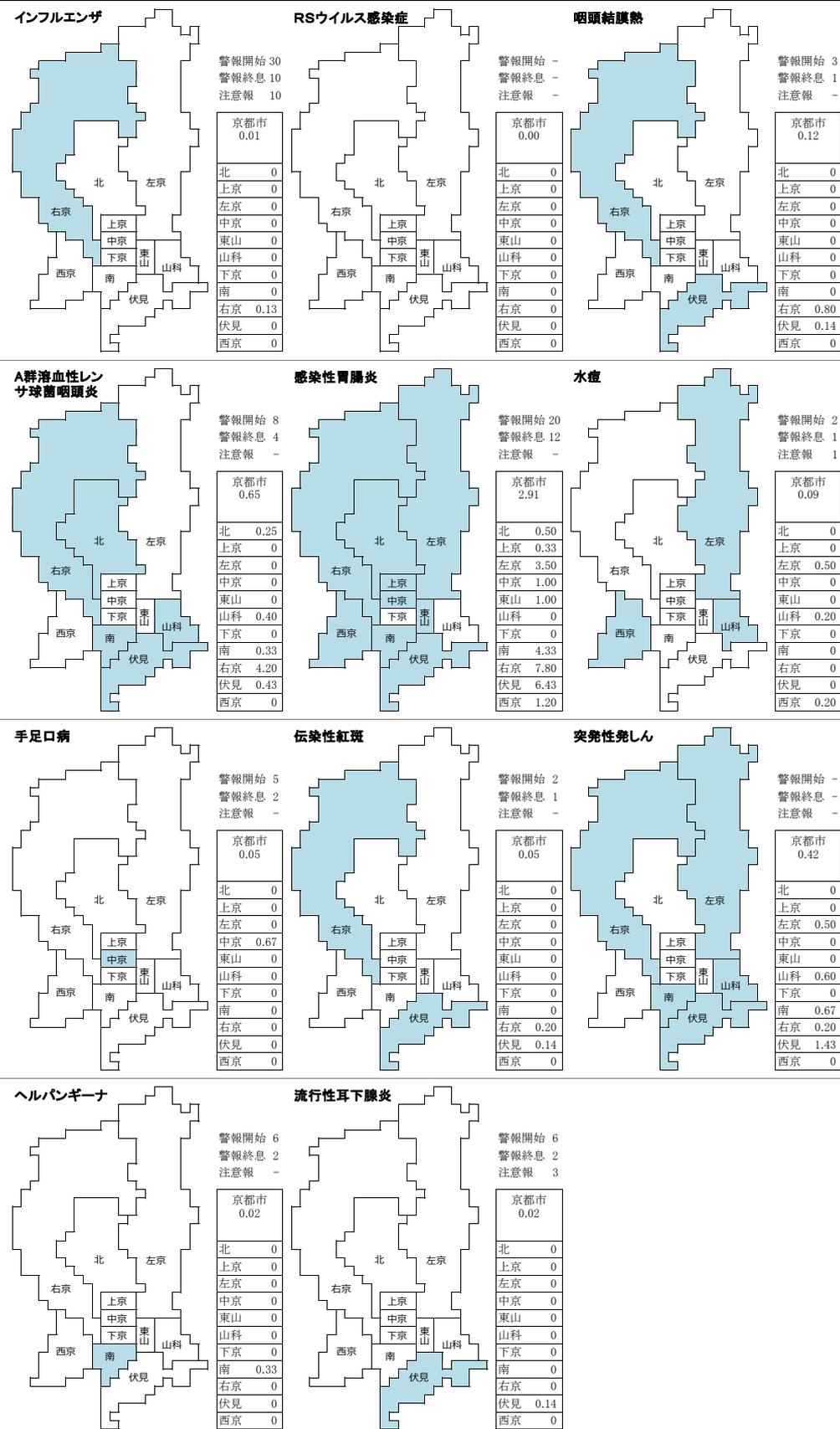
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年第5週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第5週(2月1日～2月7日)トピックス: <百日咳>

京都市の百日咳は第5週に本年初めての報告がありました。百日咳は2018年に小児科定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。これにより、感染源や予防接種歴、さらには集団感染の状況把握など定点医療機関報告では把握できなかった百日咳患者の状況が明らかになってきました。

【患者数】

2014年から2017年までの小児科定点からの報告推移は、京都市では7例から13例、全国ではおよそ1,600例から3,000例でした。全数把握疾患変更後は京都市で2018年に87例、2019年に113例、全国では12,115例及び16,846例と年間1万人以上が罹患しています(表1)。2020年は新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う感染予防の徹底等により、京都市で年間19例、全国でも2,932例と、どちらも前年のおよそ6分の1の報告数となっています。

【年齢構成】

全数把握疾患に変更後の2018年～2020年までの全国の年齢階級別割合を見ると、5～9歳が最も多く(35%)、次いで多い10～14歳(25.4%)となっており、これにワクチン接種前の時期を含む0歳(5.2%)、及び1～4歳(5.1%)を合わせた15歳未満で約70%となっています。一方、これまで把握できていなかった成人患者が約25%(20歳～64歳が22%、65歳以上が3.5%)を占めています(図1)。

【感染源】

本市の患者の感染源を年ごとに分類してみると、どの年も不明が約半数を占めていますが、明らかな感染源としては家族内と学校・保育施設に限定されています。2018年と2019年は学校・保育施設での感染が13%と19%、家族内感染が36%と37%と同じような割合を占め(図3)、学校等で広まったものを家に持ち帰って家族に拡散する構図、あるいはその逆の構図が推測されました。2020年は家族内感染が42%を占め、学校・保育施設が感染源となった報告例はありません。新型コロナウイルス感染症の流行により、学校が一定期間休校になったことで上記の感染経路が断たれたことが考えられます。

百日咳は、風邪による咳だと思い込み、受診も遅れがちです。百日咳菌は周囲への感染力が強く、症状が軽くても菌の排出があり、家族内で患者と接触した場合、感染リスクは非常に高くなります。特に、生後2箇月からはじまる予防接種をまだ受けていない新生児・乳児が罹患すると重篤化しやすいため、周りの人が感染源とならないよう注意しましょう。短い咳が連続する、咳の後に息を吸うとき「ヒュー」と音がする、咳が長引くなどの自覚症状があれば早めに受診しましょう。

表1 京都市及び全国の報告数

	累積報告数	
	京都市	全国
2014	7	2,066
2015	13	2,675
2016	10	3,011
2017	8	1,661
定点把握から全数把握に変更		
2018	87	12,115
2019	113	16,846
2020	19	2,932

図1 全国の年齢階級別割合(2018年～2020年)

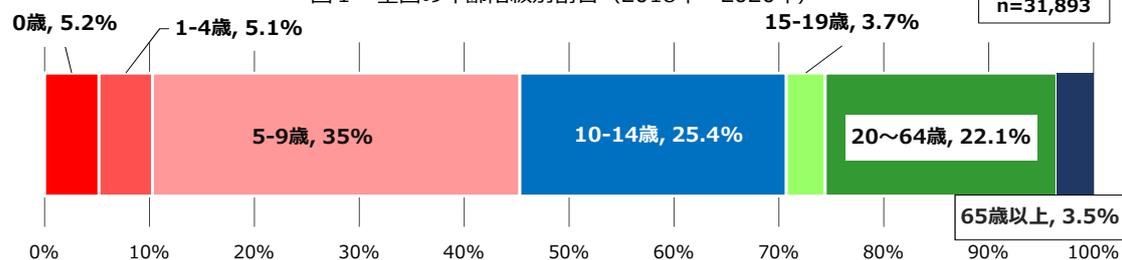
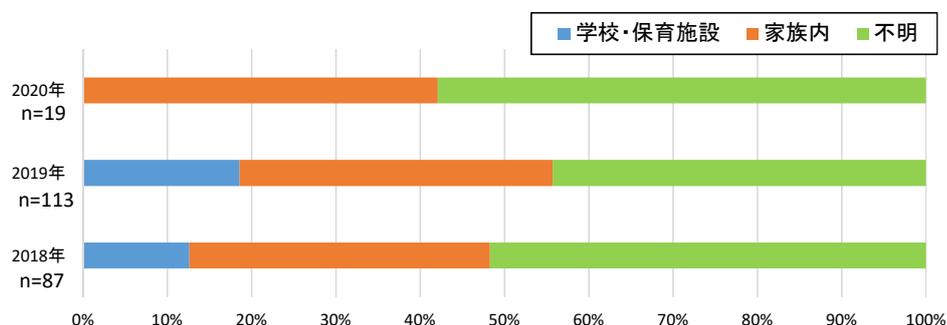


図2 京都市の患者の感染源



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第5週

疾病,行政区別報告数

2021年2月1日～2021年2月7日

データ入手日:2021年2月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	14	2	-	-	2	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	2	-	1	-	-	3	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	1	13	-	-	-	2	1	-	-	-						
右京	1	-	4	21	39	-	-	1	1	-	-	-	-						
伏見	-	-	1	3	45	-	-	1	10	-	1	-	-						
西京	-	-	-	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	1	-	5	28	125	4	2	2	18	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	3.50	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	1.00	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	0.40	-	0.20	-	-	0.60	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	0.33	4.33	-	-	-	0.67	0.33	-	-	-						
右京	0.13	-	0.80	4.20	7.80	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-						
伏見	-	-	0.14	0.43	6.43	-	-	0.14	1.43	-	0.14	-	-						
西京	-	-	-	-	1.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	0.01	-	0.12	0.65	2.91	0.09	0.05	0.05	0.42	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第5週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年2月1日～2021年2月7日

データ入手日:2021年2月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		28	-	-	3	4	1	3	4	2	1	2	-	2	1	5						
感染性胃腸炎		125	2	5	23	12	10	17	18	4	6	5	1	9	6	7						
水痘		4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1	-	-	-						
手足口病		2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-						
突発性発しん		18	-	6	11	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	-	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.65	-	-	0.07	0.09	0.02	0.07	0.09	0.05	0.02	0.05	-	0.05	0.02	0.12						
感染性胃腸炎		2.91	0.05	0.12	0.53	0.28	0.23	0.40	0.42	0.09	0.14	0.12	0.02	0.21	0.14	0.16						
水痘		0.09	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-						
手足口病		0.05	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-					
突発性発しん		0.42	-	0.14	0.26	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第5週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年2月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1	1	-	-	2	1
RSウイルス感染症	1	-	-	-	2	-
咽頭結膜熱	1	12	4	4	4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	23	11	16	28	28
感染性胃腸炎	30	55	77	111	126	125
水痘	2	6	3	5	5	4
手足口病	-	-	1	2	1	2
伝染性紅斑	-	-	-	1	-	2
突発性発しん	6	5	5	8	13	18
ヘルパンギーナ	1	1	2	2	1	1
流行性耳下腺炎	-	2	1	-	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	2	1	3	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	56	107	105	152	184	187

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.01	0.01	-	-	0.03	0.01
RSウイルス感染症	0.02	-	-	-	0.05	-
咽頭結膜熱	0.02	0.28	0.09	0.09	0.09	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	0.53	0.26	0.37	0.65	0.65
感染性胃腸炎	0.70	1.28	1.79	2.58	2.93	2.91
水痘	0.05	0.14	0.07	0.12	0.12	0.09
手足口病	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05
伝染性紅斑	-	-	-	0.02	-	0.05
突発性発しん	0.14	0.12	0.12	0.19	0.30	0.42
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	-	0.05	0.02	-	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.20	0.10	0.30	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1.29	2.63	2.52	3.77	4.26	4.34

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。